

健康で米寿を迎えられて

第21期(昭和26年卒業) 澤 邑 知 明

昨年、私は健康で米寿を迎える事が出来ました。(長年に亘り医薬品等一切服用していませんが、しかし、よる年波には勝てず足腰が目立って弱ってきています)また、今年は卒業から丁度70年、(古希?)も迎えることが出来ました。私を健康体に産んでくれた両親や先祖に深く感謝しております。

顧みれば、昭和26年に高校を卒業し、小林得一郎先生の推薦を戴きS銀行に就職し、平成元年、定年退職に伴い銀行の斡旋によりM女学校に(入学?)再就職しました。

当時は、生徒数1学年で600~700人強×3学年で比較的狭い学校に約2,000人、15~16歳のピチピチギャルの集団で、教室・部室は勿論のこと校舎内は女性特有の臭いが充満し、甲高い黄色い大きな声が彼方此方から賑やかに響き亘って、10年間とても明るい職場でした。

平成10年に女学校を(卒業?)定年退職し、早速生駒市の寿大学(シルバー)に参加しました。

驚いたことに、そこは童宮城の乙姫様では無いが、あの黒髪くろかみのギャルの集団が浦島太郎の玉手箱の話でもあるまいに、一瞬にして桃太郎のお爺さん・御婆さんの白髪しらかみの集団に様変わり、己の老人を省みずギャップの大きさに驚きを禁じ得ませんでした。

シルバーの世界に入った以上、地域にと老人会(会員約180名 会計と幹事を16年)地区の軍人遺族会(約30名 世話役を10年)市のグラウンド・ゴルフ(会員約360名 事務局を8年)

一方、その間に幼稚園のボランティアのお勧めを戴き、早速参加させていただきました。

これは又極端に3~4歳の可愛い年少、年中、年長組の園児集団。一緒にお遊戯や紙飛行機遊び、簡単な工作や園庭でのお遊び等々、月に2~3度ですが15年間楽しい時をすごせました。

米寿を前後に総て辞退させていただきました。

銀行定年後、今日まで健康で若人の世界・壮年無しで老人の世界・幼稚園児(若・老・幼)の人々と思い出深い楽しい日々を送れた事は大きな喜びであります。

最近では地域のグラウンド・ゴルフ週2回・健康麻雀 週1回、年齢と共に足腰が目立って弱ってまいりましたが無理をせず、健康に気をつけ頑張っ生きて行ければと願っています。

昔教えて戴いた老化の予防は

一善・十笑・百吸・千書・万歩

一は毎日一ツ良い事をせよ 十は毎日に十回は大声で笑え 百は毎日腹式深呼吸百回を 千は毎日千文字書きなさい 万は毎日一万歩を歩きなさい

《総ての実行はなかなか難しい》

なにごとも いふべきことは なかりけり

ただにこにこと わらふばかりぞ

感謝

校友会 皆様へ

84才人生の感想と本一万冊読破の件

校友会副会長 藤川 良純
第26期(昭和31年卒業)84才



校庭の桜が満開の4月、母校に入学しました。良い予感を感じ、将来に向かって希望で胸膨らむ思いでした。

早速、柔道部と弁論部に入部しました。部長先生が担任の壺田倫夫先生であったのが入部の動機でした。

仕事の履歴

私は、大阪商業大学を卒業すると同時に家業の薬局に入り、2代目で60年続けました。

- (1) ドラッグストアの研究にアメリカに行ったり、
- (2) ドラッグストア薬局、調剤薬局を作ったり、
- (3) 大阪薬業専門学校を卒業したり、

現在、会社(新テイコク薬業株式会社)は、3代目の息子が社長として経営しています

本一万冊読破の件

若い頃より沢山の本を読みました。今までに一万冊は読破したと思います。最近読んだ本で感銘を受けた2冊の本を紹介します。

㊤ 徳川家康 山岡荘一

約70年前から20年間に亘り26巻書かれました。

- (1) 人は怒りを堪えて何事も堪忍し耐えること。
- (2) 人に対して律儀に対応し、約束を守り、信用・信頼される人になること
- (3) 人生訓の書を眺めながら、そうだ、そうだ、まったくそうだと思っています。

㊤ スマホ人生戦略 堀江貴文

昨年出た新しい本です。

- (1) 手の平の上のせたスマホで、日本・世界のあらゆる情報が手に入る。本当に便利なものである。
 - (2) 老若男女を問わずスマホを自由自在に使いこなし、物心両面で豊かになろう。
- 私達の仕事や勉強に最強の武器であると思います。私も毎日調べものに、メールにラインと便利なものです。

私の近況

妻と2人でコロナウイルス感染症の流行のために、外出もままならず、家で静かに暮らしています。

84歳で多くあった役職も退き、現在は2つだけです。

- (1) 母校の校友会の副会長を続けています。
- (2) もう一つは、大阪商業大学 空手道部のOB・OG会の役員を60年ぐらい続けています。

これからの人生

健康に気を付けて。現在あることを、ある状況を受け入れて、今を楽しく、今に満足して。静かに暮らしたいと思っています。

神仏、ご先祖様、家族

又出合った多くの方々にお世話になったり、ご支援いただいたりしました。お蔭で、今ここに健康に暮らせています。全ての方々に感謝いたします。

母校のこと

- (1) 桜の季節、約70年前に母校に入学した時、予測し希望した通りの「誠実」で「健全」で、立派な良い学校でありました。感謝いたします。
- (2) 校友会会員の皆様のご健康とご多幸を祈念致します。

以上、私の人生84才の感想文とします。

大阪商業大学附属高等学校 (約70年前の旧校名)
柔道部OB・弁論部OB 藤川 良純 84才

朝ドラから蘇った記憶

第29期 (昭和34年卒業) 宮原 健

昨年放送のNHK連続テレビ小説「エール」は、かねてより尊敬していた作曲家 古関裕而氏をモデルにした物語とあって、放送当初より毎朝楽しく視聴していました。

このドラマは、ある程度の脚色はあったようですが、ほぼ史実通りに作られおり、主要な登場人物はすべて実在する人物で、ことごとく本名をもじった役名が付けられていました。

例えば……主人公の古関裕而氏の役名は「古山裕一」、幼馴染みの歌手「佐藤久志」の実名は伊藤久男氏、福島三羽ガラスのもう一人、作詞家の「大将、こと「村野鉄男」は野村俊夫氏と言った具合です。また、古賀政男氏がギターを抱えて「木枯正人」として、劇作家の菊田一夫氏が、「池田二郎」として登場した時などは、思わずニンマリしてしまいました。

そんな中、後に「古山裕一」の奥様となる「音」が、子供の頃に声楽家を志すきっかけとなった世界的なオペラ歌手「三浦環」が登場した際、私はすぐに彼女が、かの有名な三浦環女史であることを確信しました。と、同時に、久しぶりに頭の中に浮かんだこの「三浦環」という名前が、今から37年も前の昭和59年、私が母校の「吹奏楽部50周年記念誌」の編集に携わらせていただいた際、寄せられた手記の中に記されていたことを思い出したのです。

早速、自宅の書棚から「吹奏楽部50周年記念誌」を引っ張りだし、懐かしさとともにページをめくり始めました。「三浦環」の名前を見つけたのは、母校創立者 谷岡 登先生が、情操教育の充実を図るべく、母校に音楽科を創設した際、初代音楽科の教諭として赴任された岩淵繁蔵先生のご息女から寄せいただいた手記の中でした。そこには、岩淵先生が上野音楽学校(現 東京音楽大学) 在学中、なんとその三浦環女史に師事されたことが記述されており、さらに、三浦環女史から贈られたという貴重なサイン(下記に転載)まで掲載されていたのです。



三浦環女史と言えば、大正・昭和時代に世界を舞台に活躍された、日本が生んだ最初の国際的オペラ歌手で、オペラ「蝶々夫人」の主役に抜擢された際には、かのプッチーニから「マダム・バタフライ」との最高の称号を受けたことで知られていま

す。それほどまでの人物が、実は母校の教員をされていた大先輩と師弟関係にあったことに、当時の私は大きな感銘を受けたことを、今更ながらに思い出すことができたのです。

さて、そんな岩淵繁蔵先生は、母校吹奏楽部の創設者でもあり、初代の顧問として熱心に指導にあたられ、戦前から戦中にかけて、関西有数のバンドに育て上げるなど、多大なる貢献をされました。かく言う私も、在学中は吹奏楽部に所属し、卒業後、母校に奉職してからは顧問として吹奏楽部の指導にあらせていただき、そんな母校吹奏楽部の長い歴史の一端に触れさせていただいていたこととなります。

また、大阪府吹奏楽連盟の常任理事を務めていた頃には、夏の甲子園球場で開催されている全国高等学校野球選手権大会の開・閉会式に、連盟加入の高校生から選抜された、150名におよぶ大吹奏楽団の指揮をさせていただきました。

甲子園球場に詰め掛けた6万人に及ぶ大観衆の中で、古関裕而氏作曲の大会歌「栄冠は君に輝く」を演奏した際の、あの大銀傘に轟く大歓声に、表現できないほどの感動と身震いを感じたことを、今も生々しく覚えています。

PTA機関紙「若竹会報」投稿記事に加筆して転載。

今コロナ禍の中で、思う事

第53期 (昭和58年卒業) 東野 義晃

思えば、昨年(2020年)年始早々に、中国武漢で発見された新型コロナウイルス(Covid-19)が、あつという間に世界を席卷する事になるとはあの時、誰が?予想したのだろうか?

勿論、私も最初是对岸の火事ではないが悪いが、他人事の意識でした。ただ、横浜港に着岸したクルーズ船に、弊社の顧客が乗船していた事には、びっくり。

皆様もそうでしょうか、今日まで2度の緊急事態宣言が発令されて、飲食店は時短要請がでて、なるべく外出を控える空気になりました。しかし、若い時から私の信条は「Try and Error!」(まずは、挑戦)です。

先日、交友のある道頓堀プロレスの責任者より、「2/11開催のACF(格闘技の大会)で、ラウンドおじさんを、してみませんか?」要請?依頼?ありました。通常は、Nicebodyのお嬢さんがやる「ラウンドガール」のおじさん版です。

勢いで、依頼うけたものの段々大会本番が、迫ってくると緊張です。動画で、やり方をみたり、友人のラウンドガール経験者にlineで質問したり。

当日は、緊張しながらもボードをもって、リング1周しました。1分というインターバル時間は、長いです。観客の視線が、気になります。あいつは、誰なんだ?の視線。

最後になりますが、当分の間はコロナとの付き合いは、続きます。大変な時代ですが、前向きに何でも、挑戦したいものです。過ぎ去った時間は、取返してできないですからね。

